

このニュースは東京都レンジャーの活動や、自然の情報などを皆様へお伝えするものです。

今年度から隔月（次号は10月）の発行となりました。発行のペースは変わりますが、より魅力的な内容をお届けしてまいります。引き続き、ご愛読のほどよろしくお願いいたします。

自然公園で出会える虫たち!!

夏はたくさんの虫を観察できる季節！今回は自然公園で出会える様々な虫たちを紹介します。下の写真のような虫を見たことあるかな？



ルリボシカミキリ



ミヤマカラスアゲハ



ミヤマクワガタ



オオミズアオ



アサギマダラ



ノコギリクワガタ



ヒメアカタテハ



カメノコ
テントウ



イチモンジ
カメノコバムシ



ヒグラシ



コエゾゼミ



オオムラサキ



アサヒナカワトンボ



ルリタテハ

観察中には危険な生き物に気を付けて！



豊かな自然の残る自然公園内には危険な生き物も…。観察に夢中になっていると刺されたり、噛まれたり…。野外には危険があることを忘れずに虫を探してみてね！



オオスズメバチ



キアシナガバチ



シュルチエ
マダニ

クマに出会わないために 今、あなたにできること

世間を賑わせているクマの問題。都内の山域にはツキノワグマが生息しており目撃もされています。改めて、以下の点を確認しましょう。



☑自分の存在をツキノワグマに知らせる

- ・クマ鈴を付けて鳴らす
- ・大きめの音量でラジオをかける、大きめの声で会話する
- ・手を叩きながら歩く



☑単独ではなく、複数人で行動する



☑見通しの悪い場所や霧の時、沢沿いは特に注意

☑クマの行動が活発になる早朝や夕暮れは特に注意

都内での目撃等の情報は、「TOKYOくまっぷ」をチェック→
※東京都環境局HPより一部抜粋



レンジャーコラム

ときおり、出会った生き物の気持ちになってアテレコをしてみる。足をこすり合わせ体のお手入れ中のテントウムシ、石と見間違ふほど微動だにしないアズマヒキガエル、ゆらゆら揺れるナナフシ。例えば以下のように。



テントウムシ
「あれ、この足さっきも磨いたかもだけど、ま、いっか。」
「この時期の花粉、落ちないな。」



アズマヒキガエル
「行き先、どっちだったかな…。っていうかどこ行くんだっけ？」
「さっきは言いすぎたかも。」
「ねむたい。もう寝てしまいそう…。」



ナナフシ
「体操はじめ！屈伸！右！左！右！左！」

では、下のキノコでアテレコするとしたら？



自然公園でたまにはのんびり、
こんな楽しみ方はいかがですか。

⚠ セリフはあくまでも想像です。各生き物の本当の気持ちは分かりません。

※イラストなどは生成AIにより作成

Instagram にて最新情報発信中！
アカウントは『Tokyo Natural Parks』で検索！



東京都レンジャーの業務

- 1 自然公園利用者への利用マナーの普及、啓発
 - 2 希少な動植物の密猟や盗掘の監視
 - 3 自然公園利用者の安全確保のための遊歩道や案内板などの点検、応急補修
 - 4 動植物の生息、生育状況など自然環境の継続的観測および監視
- その他、自然公園を訪れる皆様への自然解説、登山ルートや施設の案内



自然情報などの問い合わせ

高尾ビジターセンター	042-664-7872
奥多摩ビジターセンター	0428-83-2037
御岳ビジターセンター	0428-78-9363
小峰ビジターセンター	042-595-0400
山のふるさと村ビジターセンター	0428-86-2551

東京都レンジャーニュース **検 索** ※バックナンバーは東京都環境局自然公園のホームページで閲覧できます。 No. 257 令和8年8月1日発行 MO

東京都レンジャーは、丸紅コンシューマーリンク株式会社にご協力いただいています。 **MERRELL**